

LEGAL FRONTIER

LEGAL FRONTIER

OBERON

KOTC

Best Gear

Keele

Sapporo

MAVIC

HANKOOK

CATACLEAN

KINGELT

KTM



RACE REPORT

SuperTaikyu   
Japanese Endurance Race

2023 Round.01

SUZUKA

Qualify : MARCH 18 / 1st RACE: MARCH 19 / 2nd

## PRACTICE

MARCH 16-17 [THU/FRI] FINE / DRY

いよいよ今シーズンの ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 Powered by Hankook の開幕が鈴鹿サーキットでやってきた。2021 年～2022 年と ST-1 クラスで 2 年連続チャンピオンを獲得した Ks フロントティア KTM カーズは、2023 年もシンティアム アップル KTM で 3 連覇を目指していく。ドライブするのは 2022 年同様、井田太陽／加藤寛規／高橋一穂／吉本大樹という 4 人だ。

今シーズンもシンティアム アップル KTM にとって、同クラスの唯一のライバルとなるのは、D'station Racing の #47 アストンマーティン。ジェントルマンが 2 名、ベテランと中堅のプロというドライバーの組み合わせも同じ。昨季はチャンピオン争いこそ制したものの、ギリギリの戦いだった。そこで、オフにエンジニアリング面で改良に着手。スプリングを新たに制作しセットアップの幅を広げたほか、重量配分を見直し。晴天となった 3 月 16 日 (木) の特別スポーツ走行からその確認を行っていった。

走行 2 日目となる 3 月 17 日 (金) の 2 回の占有走行では、午前には高橋がひとりりでドライブし、全クラス混走の午後は吉本、井田、高橋と交代しながら周回。午後については #47 アストンマーティンに対して、ベストタイムで 1.8 秒ほどの差をつけるなど、ドライバーたちは非常に良い感触を得ることに。オフのチームの努力の成果が発揮されていた。



PETRONAS  
Syntium